

白井第二小学校区まちづくり協議会設立準備会第2回会議事録（概要）

- 日時：令和3年3月27日（土）午後7時00分から
場所：公民センターレクホール
出席者：小林正継会長、染谷敏夫副会長、小松正信副会長、山本敏伸事務局長、永井英明書記、川上利一書記、海老原浩一（平塚西）、大野勉（中）、赤城光重（中峠団地）宇賀博（折立）佐々木敬三（富塚）山口秋雄（白井工業団地）飛井敬一（今井）山崎由一（名内）海老原昭治（平塚東）福田孝一（民生員）小林清隆（高齢者クラブつくし会）海老原進（体験農園）伊藤忠昭（第二小）滝田潔・富澤好由・森山光男（まちづくりプロジェクト）区長代理等（山本忠昭、酒井正男、板橋勇、山崎一之、岡田純一、山崎正司、山本雄一）
市民活動支援課松岡課長、高橋 公民センター折山副センター長、中島
欠席：渡辺康夫広報、赤瀬幸子（おはなしの玉手箱）、山崎洋子（まちづくりプロジェクト）
傍聴 平田新子
資料：①会議次第 ②席次表 ③委員名簿 R3.3.27 現在 ④今後のスケジュール（案）R3.3改訂 ⑤団体活動とりまとめシート ⑥アンケート調査報告書

小林会長挨拶

- ・年度切り替えになり役員の変更等あるため、区長の他、次年度役員をやる区長代理等にも参加をいただいている。
- ・二小区の特徴として農業関係者にも参加いただいた方が良いという意見があり、新たに体験農園を主宰している海老原進さんに参加をいただくこととなった。海老原さん紹介

議題

1. 各自治会・団体の活動報告

- ・団体活動とりまとめシートにより、各自治会、団体から組織の概要や課題等について発表し共有を図った。

平塚東西

- ・地域のつながりが強い。東西で分かれているが行事等一緒にやっている。
- ・地域行事としてごみゼロ、八坂神社・鳥見神社の祭礼、大般若経読会などがある。
- ・高齢化、不法投棄などが課題で農免道のポイ捨てが多い。

中区

- ・近所周りがほぼ知り合いで防犯上は非常に良い。
- ・行事は、庚申講（既婚男性）で月1回集まって酒を飲んだりしている。子安講（子育て世代の女性）。お囃子同好会、7~8人で月1回活動している。コロナで活動休止中。庚申講も40人くらいいるが60近くなくても抜けられない状態。行事関係は世襲制のような形で将来的には縮小していくと思う。

中峠団地自治会

- ・会員の移動が少ないため、住民同士のコミュニケーションが深く付き合いも長い。
- ・グラウンドゴルフなどの行事も人数が集まらないのが実情
- ・入居したときは40前後だったが今は70前後で年齢が上がってきており、体がついていかないといい人も出てきており活動が難しくなっている。

折立

- ・来迎寺、熊野神社があり歴史のある地区であるが、火災で村が焼失し歴史がわからなくなってしまった。
- ・折立菖蒲園の菖蒲まつりには地区外からも多くの参加者が来る。
- ・特産のナシ栽培に注力している。
- ・人の出入りが少ない地区。区域として80件で大きくないため情報伝達は早い。
- ・行事が高齢化で無くなりつつある。
- ・農家の後継者の育成が必要。
- ・10月に溝払いを行った。

富塚

- ・地区をA B C Dの4つに分けている。役員任期は2年だが、見ざる、聞かざる、言わざるといった感が強くなかなか進まなかった。
- ・総会は全員が集まるのではなく、各班で決めたことを追認する形で役員が集まって行っている。
- ・行事は鳥見神社祭礼11月3日（以前は県指定無形文化財のお神楽を奉納していたが後継者不足で現在は行っていない）、大みそかから新年にかけての初もうでの接待、年4回神社のお札配布（正月（大杉様）5月、10月、12月）神社関係当番は班持ち回りで6年に1回担当、神社関係は農家関係が主で担当、ごみゼロ、オビシャ（毎年1月に行っており班の翌年度の役員決めなどを行っている本来は神事として行っていたが現在は各班の新年会等として行っている）大師様（5月に印旛東葛大師として各札所を参拝して回る行事で富塚の西輪寺で参拝者の接待を

行っていたが、現在は退会して行っていない。)

- ・区を班ごと退会してしまうケースも発生している。

白井工業団地自治会

- ・組織としては小さい。高齢ながらまとまりがある。
- ・行事は賀詞交換会、ごみゼロ、忘年会など
- ・将来展望、現状維持でその中でやっていくしかない。
- ・課題として、1か所地区外からごみが捨てられてしまう集積所がある。

小名内

- ・ご近所の顔が見える関係がある。
- ・行事として、元旦祭、初集会、オビシャ、大師様、ごみゼロ、みやなぎ（神社の掃除）浅間様祭（秋の例大祭）、暮掃除
- ・神社お札配布（晦日払い、氏神様、新年札）
- ・集会の参加者が年々少なくなってきており役員のなり手がいない状況。高齢化、加入世帯の減少など課題が出ている。
- ・高齢化で世代交代ができず消防団は後継者不足で正規の団員が2名しかいない状況。4月から機能別消防団員に数名入る

今井

- ・強みは、若い人と年配者のつながりが少ないため特にないと記載した。
- ・行事はごみゼロ（役員のみ）神社・集会所掃除（全員）神社祭り（役員のみ）人が減り行事の参加も少なくなっている。
- ・自治会への参加の減少。若い人は仕事を休めないため参加が難しい。
- ・年配者が増え集まるのが難しくなっている。

名内

- ・鳥見神社と栗島神社があり、栗島神社で1月3日に祭事、3月3日の節句に人形供養があり地元や近隣から人形やおひなさまが持ち込まれる。
- ・高齢化、若者の人口減少など役員の人が負担になっている。

自治連白井第二小学校区支部

- ・各地区の代表として地域の実情はよく理解している。
- ・防犯事業として、月2回夕方青パトで1時間程度パトロールを行っている。
- ・区長の交代が1年が8地区2年が2地区となっている。

民生員児童委員

- ・生活の困りごとや心配事などの相談に応じ専門機関に橋渡しを担っている。
- ・地域の見守り活動、高齢者との同居が多くどこの人か把握できる。
- ・海外からの児童生徒の受け入れ、子どもは学校でケアできているが、大人は難しい。
- ・工業団地から海老屋に抜ける道路は雨で水がたまり歩道がなく、下水道の計画もあると聞いているが危険

白井第二小学校

- ・学校の規模が小さい。地域と密接にかかわりながら教育活動を行っている。
- ・特色ある活動をするため地域の方の協力をお願いしたい。

白井第二小学校区地区社会福祉協議会

- ・子どもたちを対象とした行事や高齢者対象とした行事を行っている。
- ・行事がコロナの関係で今年は1つしかできなかった。
- ・推進員になる人が減ってきた。

白井工業団地協議会

- ・地域の中央に位置し1970年の発足から50年経過、12月現在会員、賛助会員223社、関連企業を含め270社となっている。
- ・地域とのコミュニケーションが少なかった。交通安全では迷惑をかけている多かったが、これからは地域貢献、地域との交流を目標に活動。
- ・学校との連携、夏祭りごみゼロ、工業団地の一斉清掃、伝統文化継承等と一緒に取り組んでいる。
- ・工業団地を含めた活性化、特にバス、道路は地域とともに解決していかなければいけない問題と一緒に取り組みたい。
- ・近くにあって交流が持てていなかった。これから皆様と一緒に地域を盛り上げていきたい。

お話の玉手箱

- ・欠席

白井市消防団第三分団

- ・災害時非常時に地域の安全を組織的に守れる団体。火災時の、消防署への給水や交通整理等を行っているほか、訓練や、火災予防運動などのパトロールを行っている。
- ・消防団は消防組織法によって組織されており、一般の団体とは異なっている。
- ・第三分団は第二小学校区と河原子（第一小学校区）で組織されている。
- ・現在、団員不足で、小名内部は2名しかいない。4月から火災等非常時のみ活動する機能別消防団員ができる主に小名内部

- ・少子化、高齢化、農業からサラリーマンなど職業の変化などによりなり手が不足している。昼間家にいないなど非常時に出動できる体制が整わない状況
- ・従前は、消防団に1度は入団するような流れがあったため、消防団に対する理解、協力が自然とできていたが、最近は何故消防団が必要なのかと疑問を呈するような方もおり、他から越してきた方は消防団そのものを知らない方、自治会に加入しない方もいる。
- ・まちづくり協議会を通じて防災に対する意識の共有が図れるようになるとうい。

中つくし会高齢者クラブ

- ・カラオケは20年くらいやっている。
- ・月に1回位活動している。
- ・役員のなり手がいないことや役員の負担が増えているのが課題。

NPO法人白井環境塾

- ・欠席

白井第二小学校PTA

- ・他の学区に比べ家庭数が少ないため顔と名前を憶えやすい。
- ・継続してやる役員を増やして楽しいPTA活動にしていくことが必要。
- ・特認校のため学区外から通学する子もいるが、学区外の子は学区内の危険箇所などの把握が難しいと思う。

青少年相談員連絡協議会

- ・市内31人の相談員のうち第二小学校区は3名、任期3年、年齢層は20代から50歳代
- ・二小に相談員ポストを設置して相談に答えていた。
- ・現状活動ができていない。21年度は公民センターでのお泊り会を計画している。
- ・仕事が忙しく会議や活動に参加できない相談員が多いため、若くてこどもや世話好きな人が欲しい。
- ・ボランティアは個人ネットワークで確保しているが安定的に確保したい。
- ・まずは相談員の名前や存在を地域に知ってもらいたい。

- 各団体発表後の質疑について関連が深いことから、先にまちづくりアンケート調査の結果の説明を受けたのち行いたいと会長からの提案で先に議題(2)まちづくりアンケート結果について説明を受けることとなった。

(2) まちづくりアンケート結果について折山副センター長説明

- ・P1 アンケートは、選択式22問、自由記載2問の計24問
- ・調査対象：学区内在住の18歳以上の男女822人に、12月31日現在の各地区の人口により無作為抽出を行い送付
- ・調査期間：1月23日～2月10日の19日間
- ・回答：234件
回収率28.5%と他地区より低いですが234のサンプルが得られた。
- ・P3
男女比：男性37.6%と他地区と同様女性の回答のほうが多い
年齢：70以上20.9% 回答の年代層はばらけている
大小区 24%
三小区 24%と同じ傾向にある。
- ・P4
家族構成：同居の家族構成に特徴がある
祖父母と親子 26.1%
大小区 8.6%
三小区 8.7%
- ・P5
居住年数：在住40年以上47%と他地区に比べ非常に多くなっている
大小区 5.3%
三小区 19.3%
・住みやすさ：住みやすい14.5%
まあ住みやすいを加えると47.4%と他地区に比べ低くなっている。
大小区 86.5%
三小区 70.2%
- ・愛着：65.3%と半数以上が愛着を感じており、他地区も同様の結果
- ・P6
定住希望：ずっと住みたい50%で他地区より若干多い
大小区 47.7%
三小区 40.4%

P 6

- ・地域とのかかわり：家同士の行き来、親しくかかわる。会ったらあいさつするなど他地区と差がない

P 7～1 1

- ・問 5 自由記載 魅力
自由記載のあったものを各ジャンルごとに分類した
- ・「自然・静か」 この部分の回答が多い
- ・「農業・産物」 梨がおいしいが多い 個人名でどここのイチゴがおいしいなどの記載もあった。
- ・「人とのつながり」・顔見知り、人が良い、人が温かい、友人や知り合いが多くいるという記載が多い。
- ・「もの、施設」 工業団地があり、地元雇用を助けている、白井の湯、古い神社やお寺がある、平塚分校
- ・「その他」 上記に分類できないものを記載
- ・「ご意見」 記載のあったものを意見として整理した。

P 12

- ・地域の方とのかかわり
親しく関わっている 17.5%、大小 9.2%、三小 14.2%
時々立ち話をする 32.9%で、三小区もほぼ同じ
- ・地域の人々のつながり
薄れてきているそう思う、ややそう思うで 62.4%と希薄化している。
これは大小、三小も同じ傾向
- ・つながりは必要だと思うか
そう思う、ややそう思うが 86.7%と高くつながりの必要性を感じている
大小、三小もここは数値が高い。

P 13

- ・助け合える、相談できる人がいるか
隣近所 48.7%大小、三小も同じような数値
小学校区に住む友人知人 35.9% 大小、7.9 三小 7.3 とこの部分は地域性が出ている
- ・第二小学校区で活動している団体の認知度 団体によって分かれている。
 - ・自治会等 よく知っているが 41.5%と多い
 - ・地区社会福祉協議会 よく知っているが 14.5%と低い
 - ・民生員・児童委員 よく知っているが 15.8%と低い
 - ・青少年相談員 よく知っているが 10.7%知らないが 41.9%と高い
 - ・第二小 P T A よく知っている名前は知っている 78.9%と認知度がある
 - ・工業団地協議会 名前は知っているを含めると 64.1%
 - ・消防団 よく知っている 51.3%名前は知っているを加えると 82.9%と認知されている。
 - ・防犯指導員 市で委嘱している。青パトやっただいたいでいるが知らない 44.9%と多くなっている。
 - ・高齢者クラブ 知らないが 53%と高い
 - ・しろい環境塾 名前は知っているを含めると 50.8%あるが、知らないも 39.7%ある
 - ・お話の玉手箱 活動が第二小学校で行われているが、コアな活動のため知らないが 47.4%と高い

P 17

- ・地域活動に関心があるか
 - ・関心はあるがあまり参加していない 39.3% これは情報があれば参加してもらえるか。
 - ・関心がなく参加していない 35.9% この辺をどう考えるか課題
- ・地域活動の発展度
 - ・活発が 3.4%と低い

P 18

- ・第二小学校区の地域課題

	1 位	2 位	3 位
二小	交通安全	生活マナー	防災
大小	防災	防犯	交通安全
三小	防災	交通安全	防犯

となっており、大小、三小は生活マナーが地域課題に入っていない

P 20

- ・問 13 のその他を選択した理由
交通関係についてはハード面の書き込みが多い

P22

問15 地域でどのようなつながりが大切か

- ・①災害時助け合える 65.8% 大小、三小も同じような数値
- ・②気軽に挨拶や会話
- ・③地域課題を解決する活動 26.9% 大小 21.4% 三小 19.6%となっている。

問16 これからの地域活動の大切さ

- ・そう思う 44%、ややそう思うを加えると 80.3%で大小、三小も同じような数値

問17 これから必要なこと

- ・この項目はこれから事業を考えるうえで参考になる
- ・①気軽に交流できる機会を作る 45.7%
- ・②若い世代が参加しやすい環境 42.3%

問18 どのようにかかわっていききたいか

- ・積極的に協力参加は 1.3% でここはどこも同じような数値になっている。機会があるときに協力・参加が 39.3%ありこれはよいところ。

問19 これから取り組むべきこと

- ・①防災活動 ②環境美化活動 ③防犯活動
- ・環境美化活動は大小では下位でこの部分は特徴的

問20 地域が中心になって取り組むべきことで重要な順番

- ・①防災 ②交通安全防犯 ③防犯となっておりここには環境美化は入っていない。
- ・取り組むべきことについては問19が参考になるものと思う。

P25 問21 これから参加協力していききたい活動

- ・環境美化活動が1位で 15.8%
- ・無回答が大小 56.9% 三小が 60.9%あった。
- ・この設問は今後の課題解決を考えるうえで重要なデータになる。

問22 まちづくりの将来像を表すものとしてふさわしい言葉

- ・①安心 55.6% ②安全 49.6% ③自然 36.3%

P27

問24 アイディアや意見で自由記載のあったものを分類した

- ・交通関係
- ・イベント・交流 色んな人が参加できる運動会など参考になる意見が出ている。
- ・農業関係
- ・施設・設備等
- ・これからの方向性 もっと情報の発信が必要などの意見が出ている。
- ・その他

質疑 特に質疑はなかった。

会長 説明を聞いたばかりのため、質問しにくい面もあると思うので、今後気づいた点等については、随時確認するようお願いしたい。

3. これからの予定について

- ・会長より、できれば月1回程度会議を開催していききたい。原則月末の土曜日との提案がありました承された。

次回日程

- ・4月 5月 1日(土) 19時から
- ・5月 5月 29日(土) 19時から 開催することが了承された。

会長

- ・月1回話し合いを持ち、具体的な進め方や地域課題、キャッチコピー(この地区をどうしたい)というものを作りたい。皆様にはそういったことを考えていただきたい。
- ・5月から8月にかけていろいろ準備を整え正式にまちづくり協議会を発足したい。
- ・すでに公民センターで環境美化活動としてカンナ街道、二小の花壇など取り組んできているものがある。
- ・1歩でも、知恵を出し合いながら進めていきたい。